

LUDWIG VAN

続

必聴!!

3

ベートーヴェン 大ソナタ

- 関本昌平 ピアノ・リサイタル -



BETHHOVEN

ベートーヴェン

ピアノ・ソナタ 第15番 二長調 op.28 「田園」

ピアノ・ソナタ 第17番 二短調 op.31-2 「テンペスト」

ピアノ・ソナタ 第21番 八長調 op.53 「ワルトシュタイン」



S H O H E I S E K I M O T O

2018 **2.18** (日) 2:00pm開演
(1:00pm 開場)

全席指定 3,240円(税込)

ザ・シンフォニーホール

主催/ザ・シンフォニーホール 後援/一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会

ご予約・お問合せ

■ ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333 (10:00~18:00 火曜定休) <http://www.symphonyhall.jp>

■ プレイガイド

■ e+(イープラス) <http://eplus.jp/symphonyhall/> (パソコン・携帯)

■ チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:335-652]

■ ローソンチケット 0570-084-005 [Lコード:53923] 0570-000-407 (オペレーター対応 10:00~20:00)

発売日 2017年9月24日(日)10:00~
[Sinfonia会員先行 9月21日(木)]

※未就学児のご入場は御遠慮いただいております。
※やむを得ない事情により、曲順、曲目が
変更になる場合がございます。予めご了承ください。



続

必聴!!

ベートーヴェン 3大ソナタ

-関本昌平 ピアノ・リサイタル-

関本昌平とザ・シンフォニーホールとの出会いは、彼の中学時代にさかのぼる。その後も同ホールの舞台に立ち続け、今年2月にはベートーヴェンの三大ソナタ「悲愴」「月光」「熱情」を披露した。その公演は絶賛を博し、2018年2月にも再びベートーヴェンのピアノ・ソナタによるリサイタルの開催が決まった。第15番「田園」、17番「テンペスト」、そして第21番「ワルトシュタイン」はいずれも難聴の悪化に苦しみ、二人の弟に遺書を宛て、苦難を乗り越えようと新たな道筋を模索したころの創作。また、当時のベートーヴェンは30代前半…つまり、関本はいまの自分とほぼ同年齢の時期の作品に挑む。ロマン派の音楽を先取る表現を用いた第15番、劇的にしてさまざまな試みを実践した第17番、そしてエラー社の新型ピアノの性能を存分に取り入れた壮大なスケールの第21番…「傑作の森」と呼ばれた作曲家の中期様式へ向かう過渡期の、極めて変化に富んだ個性的なこれらの作品と、彼はどのように向き合っているのか、大いに期待したい。

文 道下京子

BEETHOVEN



関本 昌平 [ピアノ] Shohei Sekimoto, piano

18歳で第5回浜松国際ピアノコンクール第4位、20歳で第15回ショパン国際ピアノコンクール第4位、第5回モロッコ国際音楽コンクール優勝。1985年生まれ。大阪府出身。桐朋女子高校(共学)卒業後、エコール・ノルマル音楽院卒業(ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生)。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース修了。稲垣千賀子、M.ヴォスクレセンスキー、二宮裕子の各氏に師事。ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ及び第1回福田靖子賞受賞、ショパン国際コンクール in ASIA中学生部門および第2回派遣コンクール金賞。ヴェルビエ音楽祭アカデミーコンサート、アニマート音楽祭、NYカーネギーホール公演他、イタリア、ドイツ、ロンドン等で演奏。第8回松方ホール音楽賞大賞、第15回青山音楽賞新人賞、第32回日本ショパン協会賞受賞。CD「ショパン(ALM)」[ブラームス(Sony Music Direct)]をリリース。テレビ朝日系「題名のない音楽会」出演など活躍。現在、金城学院大学及び菊里高校非常勤講師。名古屋音楽大学客員准教授。

S H O H E I S E K I M O T O